

特別セミナー

安全運転に必要な心と脳のあり方

をテーマに開催します

6月9日(金)、本学地域連携機構地域交通医学・社会脳研究室主催の特別セミナー「安全運転に必要な心と脳のあり方」を永国寺キャンパス地域連携棟にて開催いたします。

現在、高齢ドライバーの逆走・暴走事案のみならず、あおり運転など危険運転行動が大きな社会問題になっています。車の運転は、手足を動かして操作するものですが、その指令塔として心と脳が深く関わっていることは、広く知られている事実です。今回の特別セミナーでは、この「運転」という行為を心と脳の視点から議論し、安全運転に関する知識と理解をより一層深めます。脳医学、脳科学および心理学の各エキスパートを講演者とし、本学からは、朴 啓彰客員教授が登場します。

【朴 啓彰客員教授のご紹介】

朴客員教授は、地域連携機構地域交通医学・社会脳研究室で、脳ドックという日本独自の予防医学から創出される健常脳のビックデータから「交通脳データベース」という新たな概念を提起し、健康長寿と運転寿命を共に延ばして超高齢社会を活性化する研究を行っています。この交通脳データベースから、他国の追従を許さない日本独自の研究成果が期待されています。

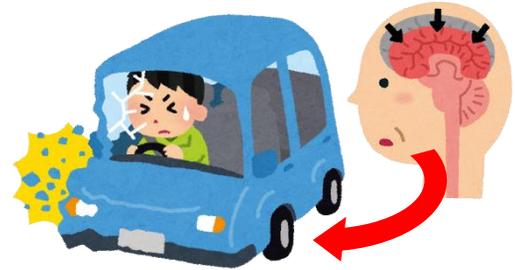
専門分野：交通医学／社会脳科学



【朴 啓彰客員教授の講演内容】

脳ドックデータと実車運転データから、白質病変のあるドライバーは安全運転能力が低下し、交差点での交通事故や高速道路への逆進入を起こしやすいことが報告されています。年齢を重ねるとともに進んでいくとされる加齢脳（脳萎縮と白質病変）は、生活習慣の改善によって防ぐことが可能です。

そこで、本講演では、脳の健康増進による安全運転の継続化を提唱します。



開催概要

日時：2023年6月9日(金) 16:00-18:30

会場：高知工科大学 永国寺キャンパス 地域連携棟 4階 多目的ホール

※駐車スペースに限りがあるため、公共交通機関のご利用にご協力をお願いいたします。

テーマ：安全運転に必要な心と脳のあり方

講師：①朴 啓彰氏（高知工科大学客員教授／高知検診クリニック脳ドックセンター長）

「脳の老化現象（脳萎縮&白質病変）と危険運転行動」

②川人 光男氏（国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所所長）

「脳科学とAIを組み合わせてメンタルヘルスに貢献する」

③蓮花 一己氏（帝塚山大学元学長／帝塚山大学心理学講座名誉教授）

「高齢ドライバーの心理と行動－健康運転寿命を延ばすには」

参加費：無料

申込方法：電話またはメールでお申し込みください。

【セミナーに関するお問い合わせ】

高知工科大学 地域連携機構事務室 高橋

TEL.0887-57-2743

E-mail :org@ml.kochi-tech.ac.jp

【本リリースに関するお問い合わせ】

高知工科大学 広報課 前田・澤田

TEL.0887-53-1080

E-mail :kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp